

**HARI** Question Bank

東洋医学シリーズ

クエスチヨン  
バンク

臨床医学各論

蛭東洋医学研究所

## 目次

臨床医学各論Ⅰ（整形外科）	・・・	3
臨床医学各論Ⅱ（内科1）	・・・	14
臨床医学各論Ⅲ（内科2）	・・・	22
臨床医学各論Ⅳ（感覚）	・・・	31
臨床医学各論Ⅴ	・・・	43

※ページ番号はpdfファイルのページになります。

## 本書の使い方

- ✓ 左半分 穴埋め問題になっています
- ✓ 右半分 回答文になっています
- ✓ 右半分を隠して、左半分を見ながら、  
右側の内容が答えられるよう暗記しましょう

# 臨床医学各論 I

(整形外科)

# 臨床醫學各論 I (整外) 一①

<p>④ 整形外科 1 次 ~ 3 次, 効果 10</p> <p>治療方法 2 次 ○ ○ の治療</p> <p>① の特徴 3 次 ○ 2 次 +, 期間, 負担</p> <p>種類 4 次 → ① の利点 1</p> <p>② の特徴 3 次 ○ ① の倍, 期間, 負担</p> <p>種類 2 次</p>	<p>肩, 肘, 膝, 股関節, 頸痛, 腰痛, 鎮痛効果</p> <p>① 保存的治療, ② 観血的治療</p> <p>自己治癒力, 長期間, 少時間</p> <p>安静, 精神療法, 薬物療法, 理学療法 (身体療法)</p> <p>自己治療 + 手術 + 2 次, 短期間, 大 2 次</p> <p>手術, 内視鏡下手術</p>
<p>④ 画像診断 200 (〜 2011) 4 次</p> <p>利点 2 次 ① 利点, 欠点, ② 特徴, 利点, 欠点 ① ②</p>	<p>① X線撮影法 (放射線), ② CT (放射線), ③ MRI (磁気), ④ 超音波診断法</p> <p>① 簡便, 読影に習熟, ② 体軸に平行に水平に, 骨の断面撮影</p> <p>③ 被曝量が少い ④ 水素原子の画像化, CT 撮影時の痛さ</p> <p>⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 関節 知覚神経 + 運動神経 3 次</p> <p>知覚神経 1 次, ② の末梢に傷了, ③ の中枢に傷了</p> <p>調整吸収 3 次</p>	<p>④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 関節炎 種類 ○ ○ ○ ○ の特徴 ○ ○ ○ ○</p> <p>・ 症状 5 次</p> <p>・ 診断 3 次 検査の利点</p> <p>① の結果</p> <p>② の結果</p> <p>・ 異常 3 次 症状名</p> <p>原因 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>	<p>④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
<p>④ 関節疾患 2 次 ① 利点</p> <p>① の分類 2 次 原因 2 次</p> <p>② の特徴 ③ の特徴</p> <p>④ の特徴 ⑤ の特徴</p>	<p>④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>

复发性關節症と生じやすい部位 3つ

① 40以上の痛発、年齢、性差、程度、慢性(年々)  
原因 一次〇〇〇二次〇〇

②の原因 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 1.2

③の原因 痛発 3つ (49才), (2, 3)

症状 6つ 〇〇〇〇〇〇〇〇 1.2.3

4.5.6

診断 X線 3つ

関節液 1つ

検査 6つ

① 3つ 〇〇〇〇

② 〇〇〇〇〇〇

③ 〇〇〇〇〇〇

治療

④ 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

基礎疾患 5つ

⑤ 〇〇〇〇

手指の変形性関節症、名称(部位) 2つ

年齢、性差、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨、特徴

[37]

⑩ 五十肩、正式名称、26歳、年齢、性差、程度

分類 4つ

原因 原因〇〇/〇〇+〇〇=53

病態生理 肩関節周囲 〇〇〇〇〇〇〇〇

症状 3つ

① 特徴① 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

② 〇〇〇〇 肩下2つ

③ 〇〇〇〇 ④ 〇〇〇〇

① 膝関節, ② 股関節, ③ 足関節

40才以上, 女性, 大, 工人, 一, 慢性

④ 一次主: 老化, 肥満以外の増え方⑤, 二次: 外傷, 股関節脱臼

⑥ 加齢による関節軟骨の進行変形, 荷重と関節並進の増進性変化

⑦ 厚軟骨と関節の変形と増進性変化

外傷(半月板損傷, 韌帯損傷, 骨折)⑧ 慢性関節炎⑨ 関節リウマチ

運動開始時痛, 階段昇降時痛, 正座困難

関節水腫, 変形, 左病(内側側副靭帯損傷)

関節腔の狭小化, 軟骨下骨の硬化像, 骨棘の形成

淡黄色透明, 粘稠性あり

大腿四頭筋徒手筋力検査, ① 変形, ② 膝蓋骨圧迫テスト

③ 膝蓋骨圧迫, ④ 大腿周計, ⑤ 膝関節屈曲 ROM

内反変形, 外反変形, 屈曲変形, 内反変形

膝蓋大腿関節(PF)関節の変性 (patello-femoral)

関節水腫 膝蓋, 大腿

鉄血の治療: 関節鏡視下デブリドメント

15% 80% 二次性〇〇〇〇, 女性〇〇〇〇

先天性股関節脱臼, 臼蓋形成不全, ① 先天性病

大腿骨頭骨折, 大腿骨頭壊死症

6-8才の男児

② ハーデン結節(DIP), ③ プリーセル結節(PIP)

40才以上の女性, ④ 5才, ⑤ ⑥ 20%合併症

肩関節周囲炎, 50歳台, 特徴, 特徴=①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

腱板炎, 肩峰窩擦炎, 五十肩, 上腕二頭筋長頭腱炎

不明, 使い過ぎ, 進行変性

軟部組織の進行変性, 炎症

① 疼痛, ② 可動域制限, ③ 拘縮

寒冷増悪/夜間痛/上腕打殿軟/熱感/発赤/腫脹/石

痛+①②制限, 結核除去, 結核除去

④ 上腕二頭筋長頭腱炎, 腱板断裂/石灰沈着性腱板炎

# 臨床医学各論 I (整形外科)

- ②

(14) 五十肩: 経過 3.

### ② 検査

ROMの検査, MM7の検査, 上腕二頭筋と肘関節の検査

MM7の筋内

検査内容

治療: 大元2筋線, 1A54

(4) ④ 椎間板ヘルニア 年齢, 性差, 部位

原因

症状: 腕, (鑑別法), 頸部

検査: 〇: 〇と互換

身体所見(脚) 80, 80 程度

下肢	①	②
③	④	⑤
⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪

⑫⑬⑭の鑑別

神経根	鑑別	部位	交差	知覚
L3/L4	①	④⑤	⑥	⑩⑪
L4/L5	②	⑦⑧	⑨	⑫⑬
S1/S2	③	⑫⑬⑭	⑮	⑯⑰

身体所見(脚) 20 程度, 〇の程度と併用

④ 後縦靭帯骨化症, 年齢, 性差(男性), 部位

症状: 〇〇〇, 頸部〇, 腕部〇

(15) ④ 脊椎疾患 37

検査

年齢, 性差, 部位

① 痺痛期(急性期), ② 拘縮期, ③ 慢性期

1-3

① 前方弯上(屈曲), ② ストレートテスト, ③ 後方弯上(伸展)

4-6

④ 2L-4テスト, ⑤ ヤーカソニテスト, ⑥ 側方弯上(外転)

関節可動域: ①②筋力①②③ ②④⑤

① 嚙口腕筋, 三角筋前部繊維, ③ 三角筋後部繊維, 旋前筋, 大円筋

④ 三角筋中部繊維, 棘上筋

7-9

① 三角筋下部繊維, ② 三角筋上部繊維, ④ 三角筋後部繊維

1, 8

① 肩峰下滑液包, ② 肩峰下滑液包, ④ 肩峰下断裂

① 肩峰下滑液包, ② 肩峰下滑液包, ④ 肩峰下断裂

① 存在内 (頸部, 頸部, 頸部), ② 存在内 (頸部, 頸部)

局所注射, 手術, 手術

20-40年代, 男性中心, L4/L5, L5/S1 80%以上

進行変性(水泳量低下), 7.3の役割低下, 捻転力

線維輪・突起と骨髄核・膨隆・脱出

腰痛と下肢痛(神経根通腸障害), 痛性跛行(脚部), 上肢痛

後側ヘルニア(神経根), 後側ヘルニア(脊髄)

1-2

① 下肢伸展挙上テスト(SLR) ② 70°後傾 ③ L5/S1

3-4

③ 大腿神経伸展テスト(FUS), ④ 70°後傾 ⑤ L3/4

5-6

⑥ 踵筋層 (EHL), ⑦ 踵筋層 (FHL), ⑧ L4/5, ⑨ L5/S1

7-8

⑩ 膝蓋腱反射 (PTR), ⑪ 肘二腕反射 (ATR), ⑫ L4 ⑬ S1

椎間関節性腰痛, 筋弱, 筋弱

① L4, ② L5, ③ S1, ④ 坐骨神経 ⑤ 大腿筋群伸張 ⑥ EHL

8-11

⑦ 70°後傾, ⑧ 踵筋層, ⑨ FHL, ⑩ FUS, ⑪ SLR ⑫ PTR, ⑬ ATR

⑭ 下肢内側部, ⑮ 足背内側部, ⑯ 足背, ⑰ 足背外側部, ⑱ 足背

① ショクソニテスト, ② ストレートテスト, 神経根症状

50歳以上, 男(頸椎部), 女(腰椎部), 変形不正, 家族集積性

脊髄の圧迫と障害, 痺性四肢麻痺/下肢力減弱, 脱力

① 椎体分離症, ② 椎間孔狭窄, ③ 椎体分離不全症

④ 椎弓の連続性消失, ⑤ 上位椎体前部移行動位差, ⑥ 併発

20-30歳男性, 40-50歳女性, 20-30歳2)後 ④ 4-5腰椎 ⑤ 5-6椎

EHL 踵筋層筋力, FHL 踵筋層筋力, FUS 大腿神経伸張テスト

SLR 下肢伸展挙上, PTR 膝蓋腱反射, ATR 肘二腕反射

原因, 症状 1.2

診断 1.2

○他の脊椎疾患 2>>

④この○の○の○の○

相対年齢, 性差, 頸部と腰部の比

徒手検査 頸椎 2>>

⑤この○の○の○の○, ○の○の○の○

年齢, 性差 分類 2>>

原因の波(頸部), 症状 頸, 肩 2>>

①の特徴, 紫斑の知覚 2>>

徒手検査 1>> 2>>

○腕の疾患 3>>

④この

①の○に炎症, ○の○増悪, F股圧痛

診断 2>> ○の○の○の○

⑥○の○の○の○, ○の○増悪, 下肢圧痛

診断

④の上肢疾患, 3>> 頸-疾患

①の○の○ (1000)の○

○の○の○の○の○の○の○の○の○の○の○

年齢, 性差 伴型

分類 4>> ○の○の○の○

①○の○の○の○, ②○の○の○の○の○

③○の○の○の○の○の○, ④○の○の○の○の○

症状 3>>

④の○の○の○

腕の検査

②の○の○の○の○の○の○

③の○の○の○の○の○の○

不バ-エ-ス, ①神経痛, 痛定痛 ②坐骨神経症, 階段昇降

④45歳以上位は○の○の○, ⑤側頭縁

4変形性脊椎症, 5脊椎管狭窄症

2逆行変形で椎間腔の狭小化

⑤50-60年代, 中年の老人層, 男:女=2:1, 膝

ジブの○の○の○, 210-117の○の○

原因不明, 脊椎管の損断個所は○, 脊髄の圧迫

40歳以上の男性(頸腕), 馬尾型, 神経根型

上位頸椎の○の○の○, ①の○の○の○, ②の○の○の○

③の○の○の○の○, 前屈, ④の○の○の○

SLR 陰性, PTR, ATR 消失

6腕痛症, 7椎間関節性腰痛, 8腕-前腕性腰痛

正確な診断は○の○の○の時

椎間関節, 腕の○の○の時, ⑦の○

椎間関節圧迫は○, 後屈, 側屈, 回旋○の○の○の○

筋力筋腹の○の○の○, 前屈の時, 中腕時勢, ⑧の○

前屈○の○の○, 回旋○の○の○の○の○

胸郭出口症候群, ⑨腕腕症候群, ⑩の○の○

刺切骨, 鎖骨, 前斜角筋, 中斜角筋

腕神経叢, 前中斜角筋, 鎖骨, 肋骨, 頸力(才70)

15-50年代 (20代が多い), 女性, 右の○の○の○

斜角筋, 肋骨, ⑪の○の○, ⑫の○

前斜角筋, 中斜角筋, 第1肋骨, 鎖骨

鳥の突起, 過伸展, 小指筋, 頸肋骨, 斜角筋三角の○

上肢の○の○の○, 放射痛, 腕力感

⑬の○の○の○, ⑭の○の○の○, ⑮の○の○の○

⑯の○の○の○, ⑰の○の○の○, ⑱の○の○の○

原因不明, VDT症

⑲の○の○の○, 10-30年代女性, 手関節有痛

無症状, 腫瘍の存在, 神経の圧迫

# 臨床医学各論 I (整外) - ③

C77

① 上肢の神経 37 (00年)

①の走行

②の走行


③の走行

筋肉の支配 ①

②

③

④ 指先の疾患と名称. 1976.32

定義末梢神経の  ① ② ③ ④ の神経障害原因

症状 ①, ②, ③, ④

① C: ① ② ③ ④ の e, ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

症状, ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

② ①の疾患(②)障害, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

枝の割合の疾患名. ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

③ ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

年齢, (特発性), ㉑, ㉒, (特発性), ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

④ ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

⑤ ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

疾病名, ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

検査

⑥ ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

⑧

① 橈骨神経(大叢, 三焦), ② 正中神経(心叢), ③ 尺骨神経(心)  
腕神経叢(C5-T1), 肩関節(大叢, 上腕三頭筋),  
上腕(橈骨神経溝), 肘関節(外側上顆筋),  
前腕(12回外筋筋面), 手関節(1-3指)

① C5-T1, ② 大叢筋, 上腕三頭筋,  
③ 上腕三頭筋の脛上膜下, ④ 12回内筋の上腕三頭筋(尺骨三頭筋)内  
⑤ 浅指屈筋, 深指屈筋の間, ⑥ 手根管, 小指以外

① C8-T1, ② 大叢筋, 上腕三頭筋  
③ 内側上腕筋間中隔の筋, ④ 内側上顆筋(尺骨神経溝)  
⑤ 尺側手根屈筋と浅指屈筋の間, ⑥ 尺骨神経管(手根管)

上腕, 前腕の伸筋群  
前腕屈筋群(尺側手根屈筋群), 母指対指筋  
尺側手根屈筋, 骨間筋, 1, 2, 4 虫歯筋, 母指内転筋  
絞扼神経障害, 橈骨神経麻痺, ① 正中, ② 尺骨...  
解剖学的狭窄部位, 絞扼, 限局性  
逆行性より骨髄

知覚: 運動神経障害, 圧痛, ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
橈骨神経溝(中央1/3), ㉑ ㉒ の P-T  
下垂手, 後骨間神経麻痺, 下垂指  
12回内筋症候群, 母指の対立障害, 猿手  
前骨間神経麻痺, ㉑ ㉒ の T-T

正中神経, 長母指屈筋, 浅指屈筋  
20-40歳, 50歳代, 女性, 利己腕  
猿手, ㉑ ㉒ の T-T, ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
肘部症候群群, 肘管症候群 / 外反肘, 内反肘  
奇形手, MP過伸症, IP屈曲

㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
手背の前腕橈側, ㉑, ㉒  
母指の掌指橈側1/2の掌側, ㉑  
尺骨神経の過



(8) ① 下肢の神経 2> , 元々○  
 ① 走行 4> の途中に位置 a, b  
 c, d  
 ② 走行  
 ① 皮膚の分布, ③ 筋, ④ 筋 1つ  
 ② 皮膚, 筋内  
 ④ 下肢の疾患, 神経疾患 2>, 3つ以上○  
 ① 好発部位 2>  
 ② 症状 3> . 神経  
 ④ 原因 2> . 疾患  
 ④ ② 2種類  
 ③ 年齢 2> 性差, 部位  
症状  
 ④ ① ②  
 年齢, 性差, 鏡反, 検査

① 腓骨神経 ② 脛骨神経, 坐骨神経  
 a 大腿後側(脛上)分岐, b 膝関節部で腓骨頭下方直下  
 c 下腿部, 外側: 浅腓骨神経, 内側: 深腓骨神経 ④ 足関節伸筋の下  
 a 腓骨, b. 脛下中火, c. 経路, d 内果下方, 足根管, 足底  
 ① 下腿外側. 足背, ② 長腓骨筋 ③ 短腓骨筋, ④ 前脛骨筋 ⑤ 足背伸筋群  
 下腿後側. 足底, 下腿三頭筋, 足趾伸筋群  
 ① 絞扼神経障害 / ② 腱鞘炎 (1つ指, 1つ以上) ③  
 ④ 腓骨頭直下, ⑤ 足根管-足節支那  
 変形: 下垂足, 尖足, 脚: 鵞足, 脛外骨骨折後  
 変形: 鉤足, 脚: 踵骨骨折 (100%), 脛骨神経麻痺  
 滑膜炎性腱鞘, 腱鞘性腱鞘  
 中年以降. 1-2 発幼少児, 女性, MP, 母指, 中指, 環指  
 3 掌現露 (12, 7 20)  
 短母指伸筋月直, 長母指伸筋月直  
 中年以降, 女性, 出産後, 7-12 ヶ月

(9) ④ 骨の代謝 3> 1. ① ②, - (100%) ③, - (100%) ④  
 ・ 骨粗鬆症 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 2 種類, 好発年齢, 2> ① ②, 性差  
 ④ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ・ 病歴 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 " ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ・ 症状 3>  
 2 好発部位 ① ② ③ ④  
 ・ 診断 3>  
 2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ・ 治療  
 ④ 骨硬化症 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ・ 好発年齢 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ・ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1 体上期, 2 吸収期 (破骨細胞), 3 形成期 (骨芽細胞)  
 骨量の減少, 骨微細構造の変化, 骨折 (10%)  
 原発性, 続発性, 50 歳代 1/4, 80 歳代 1/2, 女性  
 (白国転性, 骨芽細胞の増加 (形成期), 原発性 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 高同型性, 破骨細胞の増加 (吸収期), 続発性  
 [甲状腺機能亢進症, 7-3 2 症候群]  
 1 無症状, 2 脆骨性骨折, 3 脊椎の変形  
 橈骨遠位端, 上腕骨近位端, 指根圧自失 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 ① 脆骨性骨折の有無, ② AMI ③ 診断, ④ 画像診断  
 80% 以上, 70% 未満 [骨密度 Yang Adult Mean]  
 [先行の治療: (薬物, 運動, 食事, 物理療法)]  
 a 石灰化不十分 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 2 骨折 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 [骨髄質の増加 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿]  
 [骨髄質の増加 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿]

臨床医学各論 [整形] 子とめ ③

名称	年齢(年)	性差	頻度・特徴	予後
変形性関節症 (1次性)	中年以降		特発性	
変形性関節症 (2次性)	若年者も		続発性	
変形性膝関節症	40歳以上	女性	大. 小	膝蓋骨圧迫, 膝蓋跳動
変形性股関節症		女性	二次性80%	
ヒール骨節	40歳以上	女性	DIP, 多	
グザール骨節	40歳以上	女性	PIP	
アールズ病	6~8歳	男児		
五十肩	40-60歳, 50代	子	多	前・後・側・上, 上・下, 上・L4, 上・下, 上・下, 上・下
椎間棘突起 (H)	20~40歳	男性	L4/L5, L5/S1	SLR, 伸・屈, FMS, 伸・屈, EHL, FHL, PTR, ATR
後縦韌帯骨化症 (頸)	50歳以上	男性	多	
" (胸)	50歳以上	女性	家族集積性	
脊椎分離不全症	男性: 20-30歳 女性: 40-50歳	男性 女性	分性 L5 上 L5/S1	
変形性脊椎症 (頸)	50-60歳	男性		頸・肩, 上・下
" (胸)	中年-老人層	子		
脊柱管狭窄症 (頸・胸)	40歳以上	男性		(胸) 間欠性跛行
胸部出口症候群	15-50歳, 20代	女性	右・左	E-L1, T1-L1, T1-L1, T1-L1, T1-L1
バンダリオン	10-30歳	女性	子・胸・背	
手指蒼症候群	20-90歳, 50代	女性	利・不	7-12, 4-6, 4-6
椎間棘突起 (頸)				頸・肩, 上・下
椎間関節性腰痛				椎間関節圧迫, 後屈伸・回旋
筋・筋膜性腰痛				腰部圧迫, 前屈伸・回旋
橈骨神経麻痺 疼痛名				下垂手, 下垂指
正中神経麻痺				猿手, 10-12, 7-12, 4-6
尺骨神経麻痺				ウチ手, 7-12, 4-6
手の指	中年以降 1-2才	女性	MP, 母, 中, 環	3彈発現象, 10, 7-12, 4-6
ドゥルニ病	中年以降	女性	上肢	7-12, 4-6

前々一三[9]の72と20

- 骨腫瘍 分類 30 00性骨腫瘍, 2002和
- ・3020420の物有 1-5 00腫瘍
- ・①Ossification 1-3 (00性)
- ・悪性0物有 1-3
- ・研究兵部 002増60(002と), 020月発表, 軟体組
- ・骨髄腫0与00200, 症状
- 骨肉腫 000中1号均, 年齢00代, 性差, 打撲後

[10]の形態異常 4. 關節

① 00 00 00 00 1100, 程度1975年4月00, 0020  
性差0と00互, 性差200000  
原因 3, 1-2 3-000, 1. 2  
症状 新近発現, 27.  
乳母期 80, 20 初年

② 治療 27

- ハルテ2病 定例 000  
年齢 0.00と, 性差
- 大腿骨趾2病, 0000  
年齢, 性差, 程度 0000
- 斜頸 0(00)01200, 000000, 00互  
原因, 痛能 000000, 自然治癒0%, 症状

[11]の側弯症 脊椎000000曲17通命000000

程度 0% 性差, 分類 27  
①脊椎 00, 00性, 原因 00  
②脊椎 00, 00性, 原因0000, 0000

③ 症状 30


○診断方法 表見と後 000000以上, 他40000000, 2. 3

①先天性 2 後天性 3 腫瘍 類似性, 腫瘍  
1. カノ骨取位 [2 軟骨肉腫, 3 肌骨, 4 骨の0, 5 骨肉腫]  
1. 軟骨肉腫 (良性) [2 軟骨肉腫 (良性), 3 骨肉腫 (悪性)]  
1. カノ骨取位, 2 先天性骨肉腫 [3 軟骨肉腫]  
40歳台, 50歳台, 乳癌, 前庭腺癌, 肺癌, 癌腫 (骨髄, 軟骨肉腫)  
血行性転位. [骨髄腫, 癌肉骨折]  
先天性悪性腫瘍, 10歳台, 男性, 大腿骨直位, 脛骨0直位  
[骨肉腫, 自発癌]. [X線撮影]  
1 先天性股関節脱臼, 2 ハルテ2病, 3 大腿骨直位, 4 斜頸  
大腿骨趾0寛骨趾0脱臼, 10歳台, 減少, 年齢0000  
女性 [5-1]倍, 人種及日本人, 骨髄位分塊, [股直分塊]  
1 遺伝的要因, 2 [母体000000後]000000  
3 環境因子, [土壌0]下肢伸展位  
股位異常, 7. 7骨  
'股位異常, 2 下肢短縮(アリ又後肢)  
'大腿皮膚溝の左右非対称, 4 寛骨趾0空虚(骨頭解知)  
[ハルテ2病]後肢, 脛相前0, 奇形0000, 0000  
フロンローゼン器具, リーメンビ2-5ル器具  
大腿骨直位骨端部(大腿骨趾)の無樹性壊死  
3~12歳, 6~8歳000. 男性  
大腿骨直位骨端部0後下0000  
10歳以降, 中学生, 男性, 肥満児  
一侧0000, 00000000, 骨髄位分塊, 右侧, 0000  
不明, 患側0胸鎖乳突筋0腫瘍形0, 90%, 斜頸位(0000)  
前額面上, 左右, 脊椎0000.  
1%, 女性0000, '機能性側弯症, 構築性側弯症  
変形000, 可逆性, 姿勢不良  
0000, 非可逆性, 特異性側弯症, 女性, 0000側弯症  
変形, 背脊痛, 胸痛, 心肺機能障害(重症例)  
コブ角, 25°, 肩高2, 肩甲骨突出, 脇線0000  
前屈テスト: 胸骨隆起の有無, 患側側弯症

# 臨床医学各論 I (整形)

(4)

⑧ 側弯症の花身とお尻矯正 27

④ 外反母趾 0000092, <sup>性差</sup> , 長趾 01200

成因 27 10代中半明0, 0

症状 37

診断 27 (00115), 矯正

④ 内反足 00000, 000012-0

扱反 0に漢い00, 性差, 原因

症状 47

治療の原則, 矯正器.

(12) 骨折 定義 同様の骨折 00骨折は折れ 折能 <sup>骨折</sup> 骨折

⑩ 程度による分類 27, 状況による分類 0(分類)

鎖骨骨折 47 1. 2. 3. 10分類

3の骨折 4. 30 <sup>骨折</sup> 0と併11, 000000

40 <sup>骨折</sup> 0に折れ 1折れ <sup>骨折</sup> 0と折れ折れ

④ 脱臼 定義 関節腔 00 <sup>脱臼</sup> 折能 分類 27 (状況)

脱臼 27, 0の折れ折れ 0000

0000 併折れ 0000

④ 脱臼 定義 00 <sup>脱臼</sup> 折能 折能部位

治療 0, 47

(13) 肘 2月肘 症状 00同様の痛々 00型の型 0000

肘 2月肘 00 <sup>肘</sup> 0000 (00) 2月肘 000000

000000 000000 000000

診断 0 (0000), 0 (0000), 0 (0000)

④ 肘の肘 肘痛, 2月肘の痛々 000000 (00) 000000

000000 <sup>肘</sup> 0000, 0000

④ 野球肘 0000, 0000, 0000

症状: 0000 000000 ← 000000

原因 000000 000000 000000

④ 野球肘 痛, 000000, 000000 000000

ミルワオーキーブレース, ポストインブレース

母趾の变形と痛み, バコンの疼痛と発赤, 腓腸肌(かかと)・足底の痛み

母趾の変形と痛み, バコンの疼痛と発赤, 腓腸肌(かかと)・足底の痛み

外反母趾角(15°), 第1・第2中足骨間角(10°), ホホ痛

足の前部が内側に屈曲. 後部が内側に屈曲

先天性股関節脱臼(先天性), 男児, 不明

内反足, 尖足, 内転足, 凹足

内反足, 尖足, 内転足, 凹足

テニスの早期の治療開始. テニスブラインド型器具

骨の生理的連続性, 外傷性骨折, 病的骨折, 癌骨骨折

完全骨折, 不完全骨折, 単軌骨折(皮下骨折), 複雑骨折(開放骨折)

大腿骨頸部骨折, 上腕骨近位端骨折, 橈骨直位端骨折(内側骨折)

<sup>3</sup> J-L 骨打, <sup>4</sup> 鎖骨骨打, <sup>5</sup> 正中神経損傷, 7ヶ月変形

小児, 男性, 鎖骨の中/3 (3等分中央部分)

正常の可動域 E=27 接觸失失 T. 橈生脱臼(内側脱臼), 橈腕脱臼

肩関節脱臼, 股関節脱臼, 外傷性脱臼 環状 前方脱臼

腕神経叢麻痺, 腋窩神経麻痺, 後方脱臼

腕関節の相違内傷 正常, 足関節 0000

RICE 療法, 安静, 冷印, 圧迫, 挙上

上腕骨外側上顆炎, 上腕骨外側上顆炎 外側 内側 木刺型

30~50歳が主婦. バックストローク, 球関節の背屈, 前腕回旋

外側上顆部の圧痛, 指屈回旋痛, 177関節の屈伸の疼痛 0000

1-6 センズ (手関節背屈) 中指伸展位, 右肘 2月肘

上腕骨内側上顆炎 利手腕・肘関節内側. 同内屈筋群

利手腕側(40%), 内側上顆部の圧痛, 2月肘の内側痛々

肘関節の障害の軸心打, 断裂性骨軟骨炎, 軟部組織の炎症

尺側側副韌帯損傷, 尺骨神経障害 0000

投球動作の勢が強く, 70-80%の肘関節に炎症の接触

上腕骨近位骨頭線の骨折内傷, 1-3 上腕骨

④ 运动性膝痛, 运动时加重, 运动后缓解

症状 (运动时) 痛, (休息时) 缓解

病因 运动量过大, 急性创伤, 慢性劳损

膝盖韧带障碍, 15-18岁 (大腿骨伸屈时)

膝盖骨下压 (膝盖骨尖部) 自觉痛且压痛, 再旋

膝盖韧带, 大腿骨生长, 大腿回缩肌(2H)筋力不足

↓ = 32"

运动性膝痛

(1)  
(2)  
(3)  
(4)

(5)  
(6)

外

(7)

4

5

法

# 臨床医学各論Ⅱ

(内科 1)



下痢

特徴的所見

合併症

① 概念 ○の○の中腸器に感染が高...

・症状は、20 腹筋の○の○に局限す

・圧痛点 3-

・陽性

・特異的徴候 30 の徴候 + 20%

・内容

・

・治療 軽度は2, 検査

④ 胸以外に感染 4>

・①の原因 / 感染の20

・50%は20, (病名不明)

60% 慢性 30

症状

② ①の脚子

原因 3-

・腸管経路 ○の感染

・慢性化, 80-90% 40%

・感染性, 特異

・型

・F101

劇症化, 潜伏期

・診断 ①

・ ②

③

② 急性 原因

期間 ①週 - ①月 (①①)

・症状 ① 30 ①①, 治療 0%, 20%

特異的徴候, 70%

⑤ 血便, 粘血便, ⑥ 水様便, 血便少

⑤ 全同性潰瘍 ⑥ 狭窄性大腸炎, 瘻孔, 痔瘻

⑤ 中毒性巨大腸病, 瘻管, ⑥ 70% 性口内炎

急性化膿性炎症, 急性腹症

腹痛, 悪心嘔吐, 発熱, 心窩部痛, 右下腹部

① 2. クバーネー点, ② ランツ点, ③ フェルシ点

① 月経-上腹部痛 右1/3, ② 上腹部痛 右1/3, ③ 月経下 1-2cm

1-3

\* D-セシタイン, D-ブリン, プルベリ, 解性腸管

4 5

\* 仰臥位より左側臥位に遷移 (MS), 下行性腸管 (上) と上行性腸管 (下)

6. 7

④ 腸管に相対的弛緩 (MS), ⑤ 腸管の腸管壁硬直 (MS)

抗生物質 ① 投与, WBC 増加, CRP 陽性, 血沈低下

① 腹膜炎, ② 肝炎, ③ 胆石症・胆炎, ④ 膵炎

細菌感染 ⑤ 急性腹膜炎, ⑥ 慢性腹膜炎

厚壳虫 (肝硬変, 初10-15), 積壳虫 (外傷, 中腸炎, 進行性)

結核性, 癌着性, 腫瘍性

腸管と腹膜癒着, 慢痛, 便秘, 嘔吐, 嘔吐

肝臓: 栄養と代謝, 肝筋, 供給, 胆汁, 解毒, 造血, 造血 (造血)

① HAV, ② HBV, ③ HCV

④ 軽口, ⑤ 血液・粘膜, ⑥ 血液・粘膜

⑦ 一定性 (10%), ⑧ 成人世帯 (50% 以上) (慢性) 60-70% 慢性化 (1) 肝硬変, 肝癌

集団発生 ① 流行性, ② 水平・垂直 (母子), ③ 水平 (輸血)

RNA ① (1), DNA ② (1), RNA

60% 以上 抗体 陽性, ① 1-20, ② 10-20, ③ 1-20

④ 1, 17%, ⑤ 1, 1-3%, ⑥ 1, 2%

⑦ 便中 HAV, IgA-HA 抗体, 血清中 IgM-HA 抗体

⑧ 血中 HBs 抗原, HBsAg 陰性時 IgM-HBc 抗体

⑨ 検出性 HCV 抗体, PCR HCV RNA 陽性

⑩ 免疫的秩序: ① 免疫 (10%) と ② 肝臓肥大 (10%) の ③ 確立

④ 潜伏期, ⑤ 前駆期 (1-3日), ⑥ 発熱期 (1-2日), ⑦ 回復期 (1-27日)

⑧ 感冒 (全身倦怠), HAV 陽性, 腹痛, ⑨ 黄疸, 70-80%, ⑩ 慢性肝炎

⑪ 免疫不全, ⑫ 腹痛, ⑬ 血沈

A 50% 以下, B 20-30%, C 1-2%, HA, HB, 60



# 臨床医学各論 II (内科)

- ②

・他覚症状

・検査

・治療

④ 急性肝炎 〇〇以内の潜伏期 〇〇以内の経過 〇〇以内の回復

・発症期後、男女比 〇〇対〇〇

・他覚症状

・検査 4+

・生存率、治療

⑤ 慢性肝炎 〇〇以上持続、〇〇以上の軽度、〇〇以上の

・① 慢性持続性増殖性 〇と〇

・病因: HAV, HBV, HCV 進行・移行  
症状

・予後 〇%・〇% 移行

・治療 〇% 〇% 〇% 軽化

⑥ 胆の炎 (胆管炎と胆嚢炎) 程度層(原因)

同女性、発病率 〇%。

・急性胆の炎、症状、原因 〇と〇の比較(女性)

慢性胆の炎 症状

⑦ 膵炎 2+

① 原因因子 3+

・臨床症状

・検査

② 原因

・症状

検査

・予後

⑧ 潰瘍 〇〇以内、進行 〇〇以内、回復 〇〇以内

・胃十二指腸の 〇〇と 〇〇の比較

・分類 〇〇: 原因, 〇〇: 経過

黄疸, 肝腫大, 肝叩打痛 (カハゴウ)

血清 AST, ALT, LDH 上昇, 肝臓の時間延長(潜血陽性)

安静, 肝庇護療法 (高カロリー, 高タンパク)

8週間, 経過, 90% の生存率 - A, B 型

2%, 1:1, 発症期 2ヶ月以内 全身症状の悪化

肝濁音界の縮小・消失

肝臓の時間延長, 1-2ヶ月 7324) 時間延長 (40日以上)

血清 ALT の増加, アルブミン低下

10-20%, 血の交換, 副腎皮質ホルモン投与

6ヶ月, 門脈圧, 活動性, 非活動性

肝硬変

慢性胆の炎, 30%, 慢性性進行, HCV 80% 以上の移行

無症状, 為病学, 倦怠感, 肝の腫大

活動性の 20-30% の肝硬変の移行, 非活動性の良好

1ヶ月-720: 療法 活動性の非活動性へ転化

細菌感染, 胆管炎, 化生の創傷, / 胆道炎

女性に多い, 胆嚢炎 60%。

発症の腹痛, 右肩, 右背部, 持続性

右季肋部痛, 右背部の軽・疼痛

急性膵炎, 慢性膵炎

アルコール, 胆道疾患, 特発性

発熱, 心窩部・背部の激痛, 背臥位で痛が軽減

血清中アミラーゼ上昇

アルコール, 胆道疾患, 急性膵炎

上腹部痛, 心窩部・季肋部痛, 持続的鈍痛, 背臥位で痛

アミラーゼ上昇, 膵臓石灰化, 膵管拡大・石灰化

膵癌の合併頻度高い。回復 10%

壊死, 欠損, 粘膜炎性 十二指腸 (炎症)

消化性潰瘍

急性: 十二指腸, 慢性: 消化性

④急性胃潰瘍 (症狀) ⑤慢性胃潰瘍 (形態) ⑥原因 ⑦治療

④原因 20 以上 40 以下 (原因 67) 1  
20 20 2

・症狀

診断... 検査 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

治療

④慢性胃潰瘍 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

・症状

潰瘍 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・形態

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・症狀

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・診断

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・治療

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④十二指腸潰瘍 ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

・部位

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・症狀

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・部位

潰瘍性大腸炎

原因	不明
男女比、年齢	1:1, 30歳以下
好発部位	直腸 → 大腸全体
病変の連続性	直腸より上行の連続性
肛門部病変	ない
組織所見	粘膜, 粘膜下層 びらん限局
下痢	血便, 粘血便
特徴的所見	全層性潰瘍, 炎症性肉芽, 小腸に潰瘍性肉芽
合併症	中毒性巨大結腸症, 癌腫, 77%以上D1内炎, 3.5%の膜炎(膜), 関節性紅斑

クロ-ニ病

原因	不明
男女比、年齢	2:1, 男性, 老年に好発
好発部位	回腸末端部 → 全消化管
病変の連続性	非連続性
組織所見	痔瘻
下痢	全層性(筋層, 外膜も)
特徴的所見	水様便
合併症	狭窄: 化生, 憩室, 粘膜炎, 慢性潰瘍, 穿孔, 癌腫, 77%以上D1内炎, 3.5%の膜炎, 関節性紅斑, 強直性脊椎炎

腸炎, 虫垂炎, 急性肝炎, 急性胆管炎(慢性も), 急性膵炎, 4割以上, 2割以上, 3割以上, 4割以上

# 临床医学各论(内科)

(3)

① 食道肿瘤 20 例, 出血 ② 30

③ 胃癌 20 例, 出血 ④ 20 例, 原因不明, 胃癌 10 例

初发病 10 例, 进行性 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

④ 胃癌 10 例, 出血 10 例, 5 年生存率 ⑤ 20% ⑥ 10%

⑤ 胃癌 10 例, 出血 10 例, 5 年生存率

⑥ 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

⑦ I 型 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

II 型 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

III 型 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

IV 型 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

早期胃癌 30 例, 进行性 10 例, 出血 10 例

晚期 20 例, 1, 2, ① 10 例, ② 10 例, 胃癌 10 例

⑧ 症状, 检查 ⑨ (30 例)

① 大肠癌, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 肠癌 10 例

进行性 10 例, 1, 2, 3, 4, 5

② A 10 例, 出血 10 例, B 10 例, 胃癌 10 例

C 10 例, D 10 例

检查 10 例, 10 例, 胃癌 10 例

肠癌 10 例, 10 例, 胃癌 10 例

肠癌 10 例, 10 例, 胃癌 10 例

④ 肝肿瘤分类 ① 10 例, ② 10 例, ③ 10 例, ④ 10 例

⑤ 10 例, 10 例, 40% 阳性, 肝肿瘤 10 例 (30 例)

⑥ 检查 30

治疗方法 40

① 胆管的癌, 胰胆管癌, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 检查

② 胆管癌, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 检查, 检查

③ 肝石改变 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 检查

检查 10 例, 10 例, 胃癌 10 例, 检查

① 出血 10 例, 10 例, 胃癌 10 例, 检查

② 出血 10 例, 10 例, 胃癌 10 例, 检查

良性食道肿瘤 良性食道肿瘤 良性食道肿瘤 良性食道肿瘤 良性食道肿瘤

1/8, 男 15, 50 岁, 不明, 中部 > 下部 > 上部

10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

粘膜下层, 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

平滑肌瘤, 出血 10 例, 胃癌 10 例

下部 (组织), 小, 出血 10 例, 胃癌 10 例

胃内腔, 局限, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

溃疡形, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

溃疡形, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

胃腔内, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

粘膜下层, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

血行性, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

AST ↑, ALT ↑, AFP ↑ (PIL? 70-D 70-Tin)

肝肿瘤, 出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例

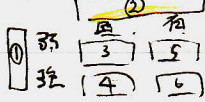
出血 10 例, 胃癌 10 例, 出血 10 例, 胃癌 10 例



# 臨床医学各論 (内科)

④

① 分類 ② 有 第( )型; ( )型



胸肋 ①-④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮, ⑯, ⑰, ⑱, ⑲, ⑳, ㉑, ㉒, ㉓, ㉔, ㉕, ㉖, ㉗, ㉘, ㉙, ㉚, ㉛, ㉜, ㉝, ㉞, ㉟, ㊱, ㊲, ㊳, ㊴, ㊵, ㊶, ㊷, ㊸, ㊹, ㊺, ㊻, ㊼, ㊽, ㊾, ㊿

⑩ 呼吸器疾患 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑪ 肺気腫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑫ 拘束性呼吸器疾患 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑬ 肺癌 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑭ 中皮腫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑮ 気胸 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑯ 気管支拡張症 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

治療

① 気道感染, ② 閉塞性換気障害 ③ 気I型(単任型)  
④ Ⅰ型(感深型), ⑤ Ⅱ型(閉塞型), ⑥ Ⅲ型(感染閉塞型)

12~2月, 痰2件咳, 471-セ, 貯流性音, 去痰

気道慢性的炎症, 気道閉鎖性障害, 気道, 慢性増大  
ⅠⅡⅢ型(ⅠⅡⅢ型), ⅡⅢⅣ型(ⅡⅢⅣ型)  
喘鳴 呼吸困難, 咳痰, 471-セ, 痰流障害, 夏間-471  
又7D1K等. 原因抗原の不明

呼吸細気管支, 肺胞破壊, 不明. 咳痰不  
木樽状胸部, 滴林心(水筒心臓)

特発性肺線維症  
肺気腫, 肺気腫(閉塞), 息苦(60, 70) 肺動脈圧不明, 喫煙, 50, 男性, 呼吸困難, 呼吸不全, 乾性咳嗽

肺門部腫, 肺野部腫, 扁平上皮癌, 腺癌, 大細胞癌, 小細胞癌  
600, 腹声, 下気管支症候群, 肺, 骨  
胸膜, 石綿

咳嗽や胸痛, 呼吸困難, 3...27  
胸膜腔, 胸痛, 呼吸困難, 空咳

血痰・喀痰 ↑=327  
特発性(777777), 続発性(肺炎, 肺膿瘍)  
外傷性(外傷), 人工気胸(手術的),  
医原性(全身麻酔), 月経に伴う気胸  
特発性引き起す

# 臨床医学各論Ⅲ

(内科2)

# 臨床医学各論II (内科2) - ①

① 内分泌疾患、分類3つ 例1

① 5つ a. 1. a. 2. b. c. d.

①-1) ① a ② a ③ 分泌  
症状 7つ

症状の原因

①-2) 別名 ① 症

① a 分泌 ② a ③

病型 3つ ① a ②

③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a

⑧ a ⑨ a

原因: ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

分類 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

症状 5つ ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

症状 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

検査 尿量 (0-0.01N) ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

甲状腺ホルモン: ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

病名 2つ, 甲状腺 ① a ② a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

原因: ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

症状 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

全身症状 4つ, 体重, 体温, 発汗, 倦怠感 3つ

特徴 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

診断 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

症状: 循環器系 2つ, 消化系, 甲状腺

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

症状 ① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

A 下垂体疾患, B 甲状腺疾患, C 副腎疾患

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① a ② a ③ a ④ a ⑤ a ⑥ a ⑦ a ⑧ a ⑨ a

① 糖尿病 别名 糖原贮积病  
○ ○ ○ ○ 皮下 糖原

症状 一般 20, 100, 精神 10, 300 20

② 褐色细胞瘤 ○ SMC の発生, ○ 乙型肝炎, 症状 10

③ 糖代謝異常: 病名 ○ ○ 1:8, 2:2, 6:1, ○ 糖能

病型 20 } ○ ○ 型 (○型), +1

10 20 他 (○性), 原因 ○ ○

症状 50

合併症 ○ ○ (○), ○ (○)

検査 30 ○, ○, ○ 2 ○ ○ 50

④ 脂質代謝異常 (○) 高LDL, 高HDL, 高TG, 高TC

合併症 ○ ○ ○

⑤ 肥満 体内 ○ ○ 脂肪, 肥満 10 ○ 以上

⑥ 痛風 ○ ○ 尿酸, ○ ○ 尿酸, ○ ○ 尿酸

症状 発熱: ○ (○), ○ ○

検査: ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

⑦ ビタミン A, B1, C, D の欠乏 好症状

A 心筋症

⑧ 心不全 分類 30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

① ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

② ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

③ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

④ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

⑤ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

⑥ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

⑦ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

⑧ ○ ○ 上昇 (○ 上昇) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

副腎皮質機能低下症, 副腎 90%

糖質 100%, 糖質 100%, 糖質 100%, ACTH

体重 減少, 色素沉着, 低血圧, 神経症, 無月経, 腋毛脱落

100% 親和性, 100% 100%, 起高血圧症候

糖尿病, 100% 不足, 高血糖

100% 依存型糖尿病, I型, 老年型

100% 非依存型糖尿病, II型, 成人型

200% (200%), 糖尿病, 100% 依存型糖尿病

口渴, 多飲, 多尿, 体重減少, 倦怠感

白内障, 视网膜血管症 (網膜症, 盲症), 200% (200%)

血糖値 100% 上昇, 100% 上昇, 100% 上昇

脂質異常症 (高脂血症), 220 mg/dl 以上

140, 40, 150 mg/dl

粥状動脈硬化症, 急性腎炎, 褐色腫

脂肪組織, 20% 以上

100% 尿酸, 痛風 100%, 慢性腎臓病, 尿酸 100%

急性腎臓病 (母趾の中足指関節), 腰痛, 尿酸 100%

慢性腎臓病, 痛風 100%, 骨破壊

夜盲症, 眼球乾燥, B 脚気, 200% 尿酸, C 壊血病, 吐血

○ < 病, 骨軟化症

① 左心不全 (○ 血性心不全) ② 右心不全 ③ 両心不全

肺静脈圧 上昇, 肺の血, 夜間 咳, 慢性呼吸困難 進行 咳

肺水腫, 心臓性 喘息, 就寝後 咳 咳

体静脈圧 上昇, 体静脈 充血, 浮腫, 体表 静脈 怒張 100% 高血

BNP (月経性 上昇) 利尿 利尿 (100%), NT-pro BNP

狭窄症, 閉鎖不全症 退院 退院, 大動脈 狭窄 100%

拡張期, 左房, 左室, 血液 流入, 左房 内血液 30% / 女性

心房 細動, 左房 内血液 形成, 肺の血, 肺水腫, 心不全

1-1.5m, 100% 24 熱, 100% 呼吸 呼吸 呼吸, 拡張期 100%

男性, 收缩期 左室, 左房 血液 逆流, 拡大 心臓 100%

100% 24 熱, 100% 利尿, 100% 利尿

女性, 100% 24 熱 24 熱, 收缩期, 左房, 左室 左房 逆流, 100%

男性, 收缩, 左室, 大動脈 血液 逆流, 左房 拡大, 肺の血

狭心症 症状, 失神, 左心不全, 慢性呼吸困難

溶血性 連鎖球菌 100% 熱



臨床医学各論II (内科2) - ②

① 大動脈弁閉鎖不全症, 瘦弱, 呼吸困難, 肺水腫, 左心室肥大

② 不整脈, 心悸, 頭暈, 視力低下, 倦怠

③ 概念: 4つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

④ 概念: 1つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑤ 概念: 2つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑥ 概念: 3つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑦ 概念: 4つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑧ 概念: 5つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑨ 概念: 6つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑩ 概念: 7つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑪ 概念: 8つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑫ 概念: 9つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑬ 概念: 10つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑭ 概念: 11つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑮ 概念: 12つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑯ 概念: 13つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑰ 概念: 14つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

① 大動脈弁閉鎖不全症, 瘦弱, 呼吸困難, 肺水腫, 左心室肥大

② 不整脈, 心悸, 頭暈, 視力低下, 倦怠

③ 概念: 4つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

④ 概念: 1つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑤ 概念: 2つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑥ 概念: 3つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑦ 概念: 4つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑧ 概念: 5つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑨ 概念: 6つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑩ 概念: 7つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑪ 概念: 8つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑫ 概念: 9つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑬ 概念: 10つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑭ 概念: 11つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑮ 概念: 12つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑯ 概念: 13つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

⑰ 概念: 14つ  
病態: 大動脈弁閉鎖不全, 肺水腫, 呼吸困難, 左心室肥大

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

① 原因 有疾志 ○, ○  
 内伤疾志. ○, ○  
 ○, ○  
 瘥林 ○, ○, ○

② 低血血症 收缩期  $< 90 \text{ mmHg}$  以下, 舒张期  $< 60 \text{ mmHg}$  以下  
 [10] 血液 造血作用 1元  $> 10 \text{ 亿}$  量 1元  $> 10 \text{ 亿}$  量 1元  $> 10 \text{ 亿}$  量  
 血血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 分类 4  $\rightarrow$  贫血

③ ① 体内  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ② 原因 脾  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 症状 目眩眼花 1  $\rightarrow$  他病症状 3  $\rightarrow$   
 检查:  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$

④ ② 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ③ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ④ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑤ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$

⑥ ③ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ④ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑤ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑥ 检查  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$

1 贫血 2 贫血 3 贫血 4 贫血 5 贫血 6 贫血 7 贫血 8 贫血 9 贫血 10 贫血 11 贫血 12 贫血 13 贫血 14 贫血 15 贫血 16 贫血 17 贫血 18 贫血 19 贫血 20 贫血 21 贫血 22 贫血 23 贫血 24 贫血 25 贫血 26 贫血 27 贫血 28 贫血 29 贫血 30 贫血

系统性疾病, 糖尿病性酮症  
 P11  $\rightarrow$  D-2 症, 7.  $\rightarrow$  D-2 症候群,  
 褐色细胞性, 甲状腺  $\rightarrow$  甲状腺亢进  
 高血圧 = 头痛, 头重感, 有 2  $\rightarrow$  中国  
 100. 身体  $\rightarrow$  (体格性), 11  $\rightarrow$  症候群, 12  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  13  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  14  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  15  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  16  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  17  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  18  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  19  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  20  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  21  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  22  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  23  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  24  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  25  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  26  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  27  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  28  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  29  $\rightarrow$  症候群  $\rightarrow$  30  $\rightarrow$  症候群

⑦ ① 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ② 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ③ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ④ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑤ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$

⑧ ① 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ② 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ③ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ④ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑤ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑥ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑦ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑧ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑨ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   
 ⑩ 贫血  $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$   $\text{Hb}$

1 贫血 2 贫血 3 贫血 4 贫血 5 贫血 6 贫血 7 贫血 8 贫血 9 贫血 10 贫血 11 贫血 12 贫血 13 贫血 14 贫血 15 贫血 16 贫血 17 贫血 18 贫血 19 贫血 20 贫血 21 贫血 22 贫血 23 贫血 24 贫血 25 贫血 26 贫血 27 贫血 28 贫血 29 贫血 30 贫血

# 臨床医学各論 II (内科)

— (3)

- ① 再生不良性貧血  $\rightarrow$  造血機能低下  $\rightarrow$  貧血、白血球減少、血小板減少
- ② 原因不明  $\rightarrow$  慢性進行性  $\rightarrow$  慢性  $\rightarrow$  急性
- ③ 白血球  $\rightarrow$  白血球減少  $\rightarrow$  白血球減少症
- ④ 分類  $\rightarrow$  急性  $\rightarrow$  慢性  $\rightarrow$  急性  $\rightarrow$  慢性

- ⑤ 分化過程の出現  $\rightarrow$  白血球
- ⑥ 検査  $\rightarrow$  1-a  $\rightarrow$  2-a  $\rightarrow$  3-c
- ⑦ 原因  $\rightarrow$  不明
- ⑧ 症状  $\rightarrow$  貧血、白血球減少、血小板減少
- ⑨ 検査  $\rightarrow$  血液、尿、骨髄

- ⑩ 感染経路  $\rightarrow$  不明
- ⑪ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性
- ⑫ 急性進行性  $\rightarrow$  急性進行性
- ⑬ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性
- ⑭ 急性進行性  $\rightarrow$  急性進行性
- ⑮ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性

- ⑯ 免疫学的検査  $\rightarrow$  免疫学的検査
- ⑰ Ⅰ型抗体、代表例 4
- ⑱ Ⅱ型抗体、例
- ⑲ Ⅲ型抗体、例 4
- ⑳ Ⅳ型抗体、例
- ㉑ Ⅴ型、例
- ㉒ 膠原病、痛風、臨床上、免疫学的
- ㉓ 慢性進行性

- ① 再生不良性貧血  $\rightarrow$  造血機能低下  $\rightarrow$  貧血、白血球減少、血小板減少
- ② 原因不明  $\rightarrow$  慢性進行性  $\rightarrow$  慢性  $\rightarrow$  急性
- ③ 白血球  $\rightarrow$  白血球減少  $\rightarrow$  白血球減少症
- ④ 分類  $\rightarrow$  急性  $\rightarrow$  慢性  $\rightarrow$  急性  $\rightarrow$  慢性
- ⑤ 分化過程の出現  $\rightarrow$  白血球
- ⑥ 検査  $\rightarrow$  1-a  $\rightarrow$  2-a  $\rightarrow$  3-c
- ⑦ 原因  $\rightarrow$  不明
- ⑧ 症状  $\rightarrow$  貧血、白血球減少、血小板減少
- ⑨ 検査  $\rightarrow$  血液、尿、骨髄
- ⑩ 感染経路  $\rightarrow$  不明
- ⑪ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性
- ⑫ 急性進行性  $\rightarrow$  急性進行性
- ⑬ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性
- ⑭ 急性進行性  $\rightarrow$  急性進行性
- ⑮ 慢性進行性  $\rightarrow$  慢性進行性

- ⑯ 免疫学的検査  $\rightarrow$  免疫学的検査
- ⑰ Ⅰ型抗体、代表例 4
- ⑱ Ⅱ型抗体、例
- ⑲ Ⅲ型抗体、例 4
- ⑳ Ⅳ型抗体、例
- ㉑ Ⅴ型、例
- ㉒ 膠原病、痛風、臨床上、免疫学的
- ㉓ 慢性進行性
- ㉔ 急性進行性
- ㉕ 慢性進行性
- ㉖ 急性進行性
- ㉗ 慢性進行性
- ㉘ 急性進行性
- ㉙ 慢性進行性
- ㉚ 急性進行性
- ㉛ 慢性進行性
- ㉜ 急性進行性
- ㉝ 慢性進行性
- ㉞ 急性進行性
- ㉟ 慢性進行性
- ㊱ 急性進行性
- ㊲ 慢性進行性
- ㊳ 急性進行性
- ㊴ 慢性進行性
- ㊵ 急性進行性
- ㊶ 慢性進行性
- ㊷ 急性進行性
- ㊸ 慢性進行性
- ㊹ 急性進行性
- ㊺ 慢性進行性



临床医学各论 II (内科)

-④-

① 多发性肌炎 ① 肌肉疼痛 ② 肌力下降 ③ 血清 CK 升高  
 ④ 肌电图异常 ⑤ 活检异常 ⑥ 治疗反应  
 ⑦ 检查 ⑧ 鉴别诊断 ⑨ 预后 ⑩ 随访

② 抗核抗体 ① 阳性 ② 滴度升高 ③ 特异性  
 ④ 临床意义 ⑤ 鉴别诊断 ⑥ 随访

③ 月经异常 ① 月经不规律 ② 经量异常 ③ 痛经  
 ④ 闭经 ⑤ 异常子宫出血 ⑥ 治疗 ⑦ 随访

④ 月经失调 ① 内分泌紊乱 ② 卵巢功能异常 ③ 子宫异常  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑤ 子宫腺肌症 ① 痛经 ② 经量增多 ③ 子宫增大  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑥ 子宫肌瘤 ① 月经不规律 ② 经量增多 ③ 压迫症状  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑦ 子宫内膜癌 ① 异常子宫出血 ② 绝经后出血  
 ③ 治疗 ④ 随访

⑧ 卵巢癌 ① 腹胀 ② 腹水 ③ 盆腔包块  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑨ 更年期综合征 ① 潮热 ② 情绪波动 ③ 骨质疏松  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

① 特发性炎症性肠病 ② 克罗恩病 ③ 溃疡性结肠炎  
 ④ 腹痛 ⑤ 腹泻 ⑥ 体重减轻 ⑦ 贫血 ⑧ 治疗 ⑨ 随访

② 抗核抗体 ① 阳性 ② 滴度升高 ③ 特异性  
 ④ 临床意义 ⑤ 鉴别诊断 ⑥ 随访

③ 月经异常 ① 月经不规律 ② 经量异常 ③ 痛经  
 ④ 闭经 ⑤ 异常子宫出血 ⑥ 治疗 ⑦ 随访

④ 月经失调 ① 内分泌紊乱 ② 卵巢功能异常 ③ 子宫异常  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑤ 子宫腺肌症 ① 痛经 ② 经量增多 ③ 子宫增大  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑥ 子宫肌瘤 ① 月经不规律 ② 经量增多 ③ 压迫症状  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

⑦ 子宫内膜癌 ① 异常子宫出血 ② 绝经后出血  
 ③ 治疗 ④ 随访

⑧ 卵巢癌 ① 腹胀 ② 腹水 ③ 盆腔包块  
 ④ 治疗 ⑤ 随访

20. 神经性食欲不振症, 0の異常心理, 精神の  
症状 0 ( )

1. 神经性過食症 症状 2000の行市242

・食行動, 女

・食行動異常 (拒食, 過食, 嘔吐)

自己嘔吐, 下剤の過剰濫用

(終)

性)

子  
性  
上

加

元  
心

# 臨床医学各論IV

(感覺)









① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

・脳AHL? 30  
 ④と⑤の呼吸 20, 20 呼吸  
 ・脳内圧亢進の比現象, 0.0 外が了  
 → 0.0.0 表した

・脳血管障害, 2020年, 2020年 0.0 障害  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ 原因 ① 特異性, 発症20-50%  
 ② 脳内圧亢進, ③ 脳血管, ④ 脳血管, ⑤ 脳血管  
 ⑥ 前駆症状 15-50% ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥ 原因 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

# 臨床醫學各論 IV(感覺) - ③

⑥ 腦出血の出血原因, 出血部位

好發部位 1位 出血, 0% 血管  
2位 " " "

①の症状 (0-1向的) 症状 0.0, 重症の出血相 0.0  
②の症状 (0-1向的) 症状 0.0

3位 出血, 症状 0, 0, 0, 0

4位 出血, (0-1向的) 症状 0, 0, 0, 0

5位 出血, 0, 0, 0

診断, 症歴 0の既往, 発症 0-2, 画像

治療, 緊急の治療 0重症, 0予部別

保存的治療 0予部別(集0) 合併症

⑦ 硬膜下出血, 出血原因, 原因 0.0以上

症状, 好發部位 0, 0, 0 (0, 0, 0), 0以上

診断, 画像 0, → 0出血, 0-1向の出血相 0重症

合併症 0: 0向的出血, 0: 0日前夜

0: 3人症状 0, 0, 0

脳出血の原因 0, 0, 0

硬膜下出血, 原因 0, 0, 0, 0, 0, 0

⑧ 骨髄膜炎 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

0重症, 0重症, 0重症

原因 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0

治療 0 (0重症 0重症 0重症)

② 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

原因 0 0重症, 0重症, 0重症

原因 0 0重症, 0重症, 0重症

原因 0 0重症, 0重症, 0重症

脳梗塞, 0重症, 0重症, 0重症

① 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

② 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

③ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

④ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑤ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑥ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑦ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑧ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑨ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑩ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑪ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑫ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑬ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑭ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑮ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑯ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑰ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症

⑱ 0重症, 0重症, 0重症, 0重症













臨床医学各論 IV (感覚) - ①

① 円形脱毛症 0.60, 0.10-0.00... 斑状  
② 斑状脱毛 0.10-0.00... 30% 脱毛症

③ 結膜炎, 1. 円形脱毛, 2. 流行性角膜炎, 3. 咽頭結膜炎  
④ 角膜炎 'アカトシバー' 角膜炎... 他... 0.12-0.18

⑤ 白内障 原因 0.12-0.18, 0.12-0.18... 原因, 症状  
⑥ 緑内障 0.12-0.18... 原因, 症状  
29% 緑内障 0.12-0.18... 原因, 症状

⑦ 大耳病 3% 原因, ⑧ 斑状  
⑨ 聴力検査 0.12-0.18, 眼圧検査, 屈折検査  
⑩ 中耳炎 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑪ 炎症性難聴 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑫ 副鼻腔炎 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因

⑬ 精神: 0.12-0.18, 0.12-0.18... 原因  
⑭ 統合失調症 0.12-0.18, 0.12-0.18... 原因  
⑮ 症状 大耳病, 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑯ ⑫ 思考や感情 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑰ ⑫ 病の 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑱ ⑫ 原因 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因  
⑲ ⑫ 原因 0.12-0.18... 原因, 0.12-0.18... 原因

① 境界性脱毛斑, 毛包同調, TIL... 原因, 原因  
② 青年・児童・通学型, 蛇行性, 全頭, 汎発性 (全身脱毛)  
③ 男性型, 分娩後, 真削 (抗がん剤)

④ I型, 円形脱毛 8型 (円形脱毛), 円形脱毛 3型 (円形脱毛)  
⑤ 結膜炎, 眼脂, 流涙, 羞明, 咽頭熱, 大型膿疱, 結膜腺性眼炎  
⑥ ソフトコンタクトレンズ使用, 原因, 原因, 原因, 原因

⑦ 眼痛, 流涙, 眼痛, 毛様体充血, 羞明, 前房蓄膿  
⑧ 皮膚脂腺, 汗腺, 毛包, 原因, 原因, 原因, 原因  
⑨ 眼瞼の発赤, 原因性腫脹, 疼痛, 眼脂, 羞明感  
⑩ 水晶体混濁, 視力低下, 加齢/視力障害 (近視), 羞明感

⑪ 眼圧亢進, 視神経障害, 視力・視野障害, 失明  
⑫ 閉鎖性眼病, 閉鎖性眼病, 原因性視神経萎縮  
⑬ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛

⑭ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
⑮ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
⑯ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
⑰ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛

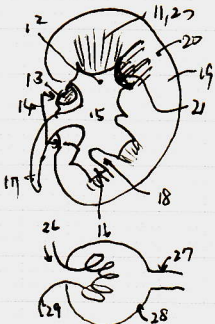
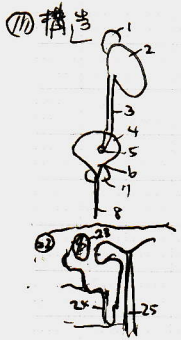
⑱ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
⑲ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
⑳ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
㉑ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛

⑳ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
㉑ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
㉒ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛  
㉓ 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛, 原因性眼痛

# 臨床医学各論 V

# 臨床醫學各論 V

①



- 1-5 1 副腎, 2 腎臟, 3 尿管, 4 膀胱, 5 尿管口
- 6-8 6 膀胱頸部, 7 前立腺, 8 尿道
- 11-13 11 腎錐體, 腎髓質, 12 大腎杯, 13 腎洞
- 14-18 14 腎門, 15 腎盂, 16 小腎杯, 17 尿管, 18 腎柱
- 19-21 19 腎皮質, 20 錐體底, 21 腎乳頭
- 22-25 22 皮質, 23 髓質, 24  $\text{HL} > \text{LL} > \text{D}$ , 25 集合管
- 26-28 26 輸入細動脈, 27 近直系細管, 28 球囊, 29
- 29 輸出系細動脈

④ 腎血流量, 腎血流量, 系球體過濾量 = 1/10  
 1日系球體過濾量, 水再吸收, 尿管1日  
 正常尿量 尿量 0.1日, 回收 0.1日  
 尿量(1日), 多尿, 少尿, 無尿, 排泄物  
 糖尿 量同 0.1以上, 夜間 0.2以上, 稀尿 0~0.2

1.2l/分, 600ml/分(60%), 120ml/分(20%)  
 170ml/分, 99%, 1.7l/日  
 1.5l 5~6回  
 3l, 400ml (1/3), 100ml (1/5), 尿管  
 8回, 1回, 1~3回

④ 系球體腎炎 0~0 腎, 性別, 腎腫脹, 0 日  
 原因 0 腎臟, 尿血, 尿蛋白, 0 日  
 血液 0 蛋白上升, 血清檢查 0  
 治療 0 2 0, 利尿, 0, 0, 0, 0

150ml/日, 細菌, 白血球, 尿管感  
 3~12才, 男, 尿少, A群β溶血性連鎖球菌, 2週前  
 免疫複合體(血尿), 血尿, 少尿, 多尿, 浮腫, 高血壓  
 血清尿素氮(BUN),  $\text{Cr}$  4.2, 系球體過濾率, ASO 高  
 靜臥床, 保鹽/飲水, 利尿, 利尿劑, 2週後

④ 慢性系球體腎炎 0 性, 0 0 0 0 0 0 0 0  
 原因 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 血清 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

原發性, 血尿, 蛋白尿, 潛血型, 進行型  
 ① 蛋白尿, 血尿, ② 蛋白尿, 血尿, 高血壓, 腎性貧血  
 不明, IgA 腎症, BUN 高值,  $\text{Cr}$  4.2, 2.2, 2.2, 2.2

④ 初一症候群, 原因 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 症狀 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

IgA 高值, 補體低值, 利尿劑 2.7, 0.1  
 大量の蛋白尿, 低蛋白血症, 脂質異常症, 浮腫  
 浮腫, 多尿, 全身倦怠, 食欲不振  
 腎前性(腎血流減少), 腎性(系球體腎炎), 腎後性(兩側性腎結核)

④ 慢性腎不全 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 原因 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 治療 1. 0, 2. 0, 3. 0

BUN 高值,  $\text{Cr}$  4.2 高值, 利尿劑, 利尿劑  
 腎血流回復(輸血), 營養療法, 尿管確保  
 高血尿, 高血尿, 高尿酸血症, 增加  
 糖尿病性腎症, 慢性系球體腎炎, 腎性貧血  
 高血壓, 高尿酸血症, 高尿酸血症

④ 腎硬化症 原因  
 原因 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

系球體過濾率(GFR)低下, 尿管確保, 尿管確保  
 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑  
 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑  
 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑

④ 腎硬化症 原因

利尿劑, 利尿劑, 利尿劑, 利尿劑





⑤硬膜外麻酔 ○に注入、○に内へ麻酔

適用 ○の○に○ ○に用-5ml  
利点○, 欠点 ○8リト  
年投 ○位に○法○の○法○に○針○に○  
副作用 ○も○

①表層麻酔 ○や○に麻酔薬○の○の○, 昔○名  
○法×5、

②透注麻酔 ○に○に○に○, ○○部○に○初○透注の

③伝導麻酔 ○○, ○に注入, ○に○に○

○三叉神経痛 ⇨: 1枝 ○ ⇨麻酔薬の○に○  
2枝 ○ ○  
3枝 ○ ○

○上肢の手術 ○, ○法○  
○手指の手術 ○, ○肋間神経痛 ○帯状疱疹 ○神経痛 ○  
○血流障害 ○に○に○, ○に○に○, ○に○に○に○に○  
↳ ○に○に○ ⇨ ○に○に○改善 ○

[有然] 歯周病 ○(○に○に○)と ○に○に○; 炎症○  
○-○交代 ○に○に○, ○の○に○  
原因菌名 日本に○に○, 病原因子  
顎関節症 ○に○に○, 症状 ○ ○ ○ ○  
・ 3歯の原因  
・ ITXル錠 ○, 骨芽錠 ○, 歯根 ○ 歯根 ○

○癩疾: ○の○直物例 ○, 肋間例 ○に○に○に○に○

[神経痛] 神経痛 ○に○に○に○と ○に○に○に○に○に○  
神経痛 ○に○に○に○に○

① ○に○に○ ○に○に○, 好発部位の ○枝, ○枝  
原因 ○に○に○に○に○, ○に○に○に○に○  
病状 ○に○に○に○に○, ○に○に○に○に○  
○に○に○に○  
治療 ○に○に○に○

⑤の○に○(○) ⑥ ○に○ ⑦ ○に○

② ○に○に○に○ ○, ○に○に○, ○に○に○に○に○  
痛みの ○に○に○に○に○, ○に○に○に○に○  
圧痛点(○の○) 4) ○(○) ×4.

硬膜外腔, 脊髄神経 / 分節

頸部~会陰部, ペインクリニック  
頸椎~仙椎に○に○に○に○, 脊髄神経下麻酔の○に○  
局所透注麻酔, 懸滴法, 抵抗消失法  
硬膜穿刺, 脊髄神経下腔注入

皮膚, 粘膜, 滴下, 噴霧, リドカイン  
貼付法, 望布法, 噴霧法, 含嗽法, 滴下法(眼科)

手術療法, 局所注射, 脊髄神経, 末梢部位  
神経の走行部位 神経叢, 神経池, 神経叢の○

三叉神経T1, 2, 3: 1枝: 眼窩上神経T1, 2  
眼窩下神経T1, 2, 3, 上頸神経T1, 2, 3  
トカイ神経T1, 2, 3, 下頸神経T1, 2, 3

腕神経叢T1, 2, 3: 斜角筋法  
指神経T1, 2, 3, 肋間神経T1, 2, 3

交感神経 / 星状神経節T1, 2, 3  
肋間部血流改善 - 難治性疼痛の改善

歯肉炎(歯肉): 出血, 歯周炎: 出血と排膿  
30~40歳, 80%. 歯牙喪失原因 1位  
歯周病原性細菌, ラジバトリウム, 歯垢

20代増開口障害, 顎関節痛, 咀嚼(筋)痛, 関節障害  
ミュータス連鎖球菌の○に○に○  
C1 / C2 / C3 / C4

歯槽線, 内痔核, 外痔核 静脈瘤  
特発性神経痛, 症候性神経痛  
三叉, 肋間, 坐骨, 後頭  
女性, 50才, II, III

根拠, 運動性, 片側性, 視覚, 聴覚, 嗅覚  
数分, 2分以内, 誘発領域(トリガーゾーン)  
神経学的異常

5藥物, 神経T1, 2, 3, 6放射線  
7トリートメント(抗中絶), 8微小血管造影, 9ガングリオン

症候性, 帯状疱疹, 脊髄疾患, 30~40  
一側性, 半環状, 脊髄症状, 呼吸  
バル, 脊髄側線(脊髄点) 腋窩得点(外側点)  
胸骨線(胸骨点) 腹直筋の中線上(上腹点)

# 臨床医学各論

(3)

③ 坐骨神経痛: 〇~〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>痛の50%<sup>3</sup>に及ぶ

④ 後頭神経痛: 〇, 〇, 〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑤ [一般外科] 損傷の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑥ [熱傷] 重症度の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑦ [凍瘡] 凍瘡の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑧ [出血] 出血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑨ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑩ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑪ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑫ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑬ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑭ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑮ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑯ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑰ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑱ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑲ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

⑳ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

㉑ [止血] 止血の〇<sup>1</sup>に拘束, 〇<sup>2</sup>に拘束, 〇<sup>3</sup>に拘束, 〇<sup>4</sup>に拘束, 〇<sup>5</sup>に拘束, 〇<sup>6</sup>に拘束, 〇<sup>7</sup>に拘束, 〇<sup>8</sup>に拘束, 〇<sup>9</sup>に拘束, 〇<sup>10</sup>に拘束

20~40歳, 胸椎椎間板入心? 胸部脊髄管狭窄症

大後頭, 小後頭, 大肩, 大後頭  
症候性, 変形性頸椎症, ラット-11

後頭部, 頸部, 感覚異常, 三叉神経(大枝)  
非力, 痛の変化, 身体組織 運路, 断絶

'外傷', '病的損傷', '創傷', '潰瘍'  
病的損傷: 手術, 閉鎖性, 非閉鎖性

物理的損傷, 温熱性損傷, 化学的損傷, 電気的損傷  
一次治療 (理想的), 二次治療, 肉芽形成, 瘢痕形成

受傷面積, 深達度, 分泌の喪失, 3000  
9の法則, 11(9), 頭面四肢, 熱, 胸腹, 両大腿両下肢

手学法, '浅達性', '深達性'  
表皮, 真皮(肉芽), あり, 10L

真皮, 瘢痕なし 3L あり  
真皮深, 瘢痕あり, 知覚鈍麻, あり

表皮-皮下層, 瘢痕性拘縮, 無痛, 石L  
輸液路, 輸液

しやT, 血流不全, 5~10°C, 氷点下  
末梢組織, 循環不全

急性循環不全... → 多臓器不全 (MOF)  
十分な循環血液量, 正常な心臓のポンプ作用

正常な血管の緊張 [血圧・心拍・血管]  
'出血性', '心原性', 細菌性 = 敗血性

内科的(内毒素)/神経性, 在走神経節 / PT333-1  
1/1-17171717 (血圧低下), 心電図 (ST段異常)

心肺蘇生 (ABC), 気道, 呼吸, 循環  
一時的, 永久的

動脈性, 静脈性, 実質性 (出血点付定) 3L  
圧迫, 絞扼 (17, 22) 適合, 閉塞, 凝固, 血栓

二重結合, 適合吻合 / 圧迫結合 / 厚皮  
'癒着', '癒着', 糖尿病, 下痢, 全身

血管炎, 結合組織, 療育, 3L, 疼痛, 17  
'丹毒', '丹毒', 溶連菌, 急性全身性発熱, 17

'17', '17', '血行性', '化膿性', 腸肺炎, 腸肺炎  
'化膿性', '化膿性', 医原性, 17, 溶連菌

'化膿性', '化膿性', 医原性, 17, 溶連菌





本書の一部あるいは全部を、無断で複製、  
転載すること、インターネットで掲載する  
ことは、著作権者および出版社の権利の  
侵害となります。

あらかじめ許諾をお求めください。

本書を無断で複製する行為（コピー、  
スキャンなど）は、「私的使用のための  
複製」など著作権法上の限られた例外を  
除き、禁じられています。

また、複写物やスキャンデータを他者へ  
譲渡・販売することも違法となります。

## 東洋医学シリーズ クエスチョンバンク

発行者 大塚 信之

発行所 蛸東洋医学研究所

**HARI** Hotal Ancient-medicine Research Institute

住所 大阪府豊中市蛸池中町

<http://otsuka.holding.jp/HARI/>

E-mail : [hari@otsuka.holding.jp](mailto:hari@otsuka.holding.jp)

---

Printed in Japan ©2020 東洋医学研究所